

千歳市 令和5年度 アイヌ政策推進交付金事業計画 変更内訳

1. 今回の変更事業

(1) 文化振興事業

【事業の追加】千歳アイヌ文化担い手育成事業

2. 変更内容

【追加する事業の内容】

エカシ・フチから千歳に伝わるアイヌの風習、言い伝え、出来事などを聞き取り、デジタル媒体の記録に整理・保存することで、今後の若手協会員による伝承活動に役立てる。

3. 変更増減額

(1) 文化振興事業

令和5年度交付金額 18,995千円 19,875千円(880千円増)

エカシ・フチ聞き取り事業費	1,100千円	×0.8	880千円
---------------	---------	------	-------

令和5年度文化振興事業費計 23,744千円 24,844千円(1,100千円増)

4. 事業計画変更箇所

(1) 文化振興事業

- ・「4 事業の概要」の「(1)文化振興事業」に、「エカシ・フチ聞き取り事業」に係る内容を追記した。
- ・「8 収支予算」、「9 経費の配分」、「別表1 収支計画書」において、「エカシ・フチ聞き取り事業」の追加に伴う修正を行った。

アイヌ政策推進交付金事業計画

1 事業名	千歳アイヌ文化伝承活動推進事業
2 事業の種類	文化振興事業、地域・産業振興事業、コミュニティ活動支援事業
3 事業の目的	<p>アイヌ文化の保存と継承、普及啓発に資する施策を展開することにより、先人から受け継がれてきたアイヌの知識や精神、技術を次世代へ確実に継承するとともに、アイヌ民族や文化への市民理解を深めることで、アイヌの人々の誇りが尊重される地域社会の実現を目指す。</p>
4 事業の概要	<p>(1) 文化振興事業</p> <p>ア アイヌ文化担い手育成事業</p> <p>事業実施主体 : 千歳市</p> <p>事業の実施場所 : 蘭越生活館ほか</p> <p>事業の実施期間 : 交付決定の日～令和6年3月</p> <p>事業の内容と考え方</p> <p>アイヌ文化に興味を持つ方々を対象に、手芸、古式舞踊、木彫、物語などアイヌ文化に関わる体験講座を開催し、文化伝承活動のすそ野を広げる。</p> <p>また、儀礼作法、手仕事、伝統芸能、食文化などに関わるアイヌの伝統や知識を検証し、指針を策定することでアイヌ文化継承者の育成に役立てる。</p> <p>さらに、アイヌ民具等の制作をとおして、伝統工芸に関わる知識や技術の保存・継承を図るとともに、制作した工芸品を展示物として活用する。</p> <p><u>加えて、エカシ・フチから千歳に伝わるアイヌの風習、言い伝え、出来事などを聞き取り、デジタル媒体の記録に整理・保存することで今後の若手協会員による伝承活動に役立てる。</u></p> <p>イ 伝統的なアイヌ文化・生活の場再生事業</p> <p>事業実施主体 : 千歳市</p> <p>事業の実施場所 : 千歳市大和地区(市有地)</p> <p>事業の実施期間 : 交付決定の日～令和6年3月</p> <p>事業の内容と考え方</p> <p>アイヌの人々が暮らしてきた伝統的な生活空間を再生し、持続可能な方法で資源を採取・活用していくための環境整備の一環として、千歳アイヌ協会に用地を提供し、古くからアイヌの人々が暮らしに活かしてきた樹木や草花等の自然素材を育成する。</p> <p>育成・採取した自然素材は、アイヌ伝統儀礼の祭具や手工芸品の制作のための材料として活用するほか、市民を対象としたアイヌ文化講座などに活用する。</p> <p>また、事業の実施に伴い必要となる通路の整備、支障木の伐採、柵の整備等を行う。</p> <p>さらに、令和4年3月に締結したアイヌ共用林野設定契約に関する諸事項を記載した標識を共用林野入口に設置する。</p>

	<p>ウ 千歳アイヌ文化普及啓発事業</p> <p>事業実施主体 : 千歳市</p> <p>事業の実施場所: サケのふるさと千歳水族館、千歳市埋蔵文化財センター、ウポポイほか</p> <p>事業の実施期間: 交付決定の日～令和6年3月</p> <p>事業の内容と考え方</p> <p>「アイヌ古式舞踊」「民族音楽」「口承文芸」など伝統芸能の発表、アイヌ民族に関わる「講話」、伝承活動に関わる「パネル展示」、アイヌ語や口承文芸に関わる「オンライン講座」などを通して、先人から大切に受け継がれてきたアイヌ民族の伝統文化や精神性を広く市民等に発信し、アイヌ民族の伝統及び文化に対する市民理解の促進を図る。</p> <p>また、旧石器時代にはじまり縄文時代を経てアイヌ文化期に至る先人の歴史を学習し理解を深める機会として、史跡やアイヌ文化施設等を巡る見学会を開催する。</p>
<p>5 アイヌ施策推進地域計画における記載</p>	<p>4 - 1 アイヌ文化の保存又は継承に資する事業</p> <p>アイヌ文化担い手育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千歳アイヌ協会及び千歳アイヌ文化伝承保存会が主体となり、講座の開催などを通じて、アイヌ語をはじめ、刺しゅうや木彫、伝統舞踊や儀礼など、アイヌの知識や精神、技術を教授し、アイヌ文化伝承活動のすそ野を広げるとともに伝承活動の担い手の育成を図る。 ・木彫や民具、手芸品などの制作を通して、伝統工芸品の制作に関わる知識や技術の保存・継承を図るとともに、制作物を生活館及び市内イベント会場等で展示する。 ・儀礼作法、手仕事、伝統芸能、食文化などに関わるアイヌの伝統や知識を検証し、指針を策定することでアイヌ文化継承者の育成に役立てる。 <p>・エカシ・フチに伝わるアイヌの風習、言い伝え、出来事などをデジタル媒体の記録に整理・保存し、伝承活動に役立てる。</p> <p>伝統的なアイヌ文化・生活の場再生事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ共用林野設定契約に関する諸事項を記載した標識を共用林野入口に設置する。 ・アイヌの人々が暮らしてきた伝統的な生活空間を再生し、持続可能な方法で資源を採取・活用していくための環境整備の一環として、千歳アイヌ協会に用地を提供し、古くからアイヌの人々が暮らしに活かしてきた樹木や草花等の自然素材を育成する。

	<p>4 - 2 アイヌの伝統等に関する理解の促進に資する事業</p> <p>千歳アイヌ文化普及啓発事業 ・会員を中心に大切に受け継がれてきたアイヌ文化を広く市民に披露するとともに、親子でアイヌ文化に触れ、体験してもらうことができるイベントを開催する。また、併せて、アイヌ文化に関わる公演を開催する。 ・アイヌ語・口承文芸講座のオンライン開催を通じて、アイヌ語の千歳方言、千歳の口承文芸、千歳のアイヌ文化伝承活動などについて広く受講者へ発信する。 ・市民が、旧石器時代にはじまり縄文時代を経てアイヌ文化期に至る先人の歴史を学習し理解を深める機会として、史跡やアイヌ文化施設等を巡る見学会を開催する。</p>																				
<p>6 事業の成果目標等</p>																					
<p>(1)成果目標の達成に向けた工程</p>	<p>(1)文化振興事業</p> <p>アイヌ文化担い手育成事業 地域の人々が、アイヌ語をはじめ、刺しゅうや木彫、伝統舞踊や儀礼など、アイヌの知識や精神、技術を学び、体験することによって、アイヌの伝統や文化に対する市民理解が深まり、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現を図る事業であり、講座等の参加者が増えるほど効果が高まると考えられる。</p> <p>伝統的なアイヌ文化・生活の場再生事業 古くからアイヌの人々が暮らしに生かしてきた樹木や草花等の自然素材を育成し、採取した自然素材を祭具の制作やアイヌ文化講座などに活用することによって伝承活動の持続性を確保し、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現を図る事業であり、事業に関わる人数が多いほど効果が高まると考えられる。</p> <p>千歳アイヌ文化普及啓発事業 アイヌ文化にかかわる公演やセミナーにおける学びや体験、史跡やウポポイ等を巡る見学会での学習などを通して、郷土の魅力やアイヌ文化、先人の歴史への市民理解を深め、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現を図る事業であり、公演やセミナー、見学会への参加者が増えるほど効果が高まると考えられる。</p>																				
<p>(2)成果目標、(中間)目標年度(成果目標に対する現状値、及び成果目標の達成見込みについて記載すること)</p>	<p>(1)文化振興事業</p> <table border="0"> <tr> <td>担い手育成事業、チプ制作事業、自然素材育成事業参加者数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(現状値) 令和2年度</td> <td>0人/年間</td> </tr> <tr> <td>(中間目標) 令和3年度</td> <td>100人/年間</td> </tr> <tr> <td>(最終目標) 令和5年度</td> <td>160人/年間</td> </tr> </table> <p>国際交流事業交流者数</p> <table border="0"> <tr> <td>(現状値) 平成30年度</td> <td>30人/年間</td> </tr> <tr> <td>(中間目標) 令和3年度</td> <td>0人/年間</td> </tr> <tr> <td>(最終目標) 令和5年度</td> <td>0人/年間</td> </tr> </table> <p>普及啓発事業参加者数</p> <table border="0"> <tr> <td>(現状値) 令和元年度</td> <td>0人/年間</td> </tr> <tr> <td>(中間目標) 令和3年度</td> <td>50人/年間</td> </tr> <tr> <td>(最終目標) 令和5年度</td> <td>450人/年間</td> </tr> </table>	担い手育成事業、チプ制作事業、自然素材育成事業参加者数		(現状値) 令和2年度	0人/年間	(中間目標) 令和3年度	100人/年間	(最終目標) 令和5年度	160人/年間	(現状値) 平成30年度	30人/年間	(中間目標) 令和3年度	0人/年間	(最終目標) 令和5年度	0人/年間	(現状値) 令和元年度	0人/年間	(中間目標) 令和3年度	50人/年間	(最終目標) 令和5年度	450人/年間
担い手育成事業、チプ制作事業、自然素材育成事業参加者数																					
(現状値) 令和2年度	0人/年間																				
(中間目標) 令和3年度	100人/年間																				
(最終目標) 令和5年度	160人/年間																				
(現状値) 平成30年度	30人/年間																				
(中間目標) 令和3年度	0人/年間																				
(最終目標) 令和5年度	0人/年間																				
(現状値) 令和元年度	0人/年間																				
(中間目標) 令和3年度	50人/年間																				
(最終目標) 令和5年度	450人/年間																				

	<p>(2)地域・産業振興事業</p> <p>生活館観光利用者数 (現状値)平成30年度 0人/年間 (中間目標)令和3年度 50人/年間 (最終目標)令和5年度 150人/年間</p> <p>デジタルサイネージタッチ数 (現状値)平成30年度 15,000人/年間 (中間目標)令和3年度 650,000人/年間 (最終目標)令和5年度 750,000人/年間</p> <p>千歳水族館展示室利用者数 (現状値)令和2年度 0人/年間 (中間目標)令和3年度 120,000人/年間 (最終目標)令和5年度 150,000人/年間</p>
(3)成果目標の確認方法	<p>KPIである担い手育成事業・チブ制作事業の参加者数、国際交流事業の交流者数、普及啓発事業の参加者数、生活館観光利用者数、デジタルサイネージタッチ数、千歳水族館展示室利用者数について、実績値を公表する。また千歳アイヌ協会や千歳アイヌ文化伝承保存会等により、目標達成状況等の検証を行い、改善点を踏まえて計画期間内の事業実施等に反映する。</p>
7 地域の概要	
(1)地域におけるアイヌ文化等の現状及び課題	<p>千歳地方一帯は、1600年代より「シコツ」(アイヌ語で大きな凹地)と呼ばれており、史記にも「志古津」や「シコツ」と記載され、千歳川もかつてはシコツ川と呼ばれていた。かつて千歳には、多くのアイヌ民族が住んでおり、歴史的にアイヌ文化に関わりが深い。</p> <p>千歳市においては、昭和32年に蘭越町内会が北海道アイヌ協会へ加入したことに始まり、昭和37年2月には北海道ウタリ協会千歳支部が結成され、平成21年に北海道ウタリ協会から北海道アイヌ協会に改称、平成26年には社団法人から公益社団法人への移行に伴い、千歳支部も同年4月から「千歳アイヌ協会」に改称した。</p> <p>これまで、千歳アイヌ協会及び千歳アイヌ文化伝承保存会は、蘭越生活館を活動の拠点に、「アイヌ語教室」を開催し、「アシリパノミ」や「アシリチェブノミ」などの伝統的儀礼をはじめ、年間を通して様々な行事を実施してきており、千歳アイヌの生活や文化等の発信に努めてきた。</p> <p>また、平成8年3月には千歳市立末広小学校にチセが完成し、学校教育現場における本格的なアイヌ文化学習が行われるようになった。</p> <p>このように、千歳アイヌ協会及び千歳アイヌ文化伝承保存会のこれまでの取組により、千歳市内でもアイヌの歴史や文化を学ぶ機会が創出され、アイヌ文化に対する市民の関心は高まりつつある。</p> <p>一方で、千歳アイヌ協会及び千歳アイヌ文化伝承保存会では、伝承活動の中心を担っている会員の高齢化が進んでおり、また、既存会員も経済的理由により伝承活動に専念できる者が少ないことから、若手をはじめとした伝承活動の担い手が不足している。</p> <p>このような背景から、伝承活動の担い手を育成し、千歳アイヌの伝統及び文化を次世代へ円滑に継承することが喫緊の課題となっている。</p>

<p>(2)施設等の管理 運営体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蘭越生活館は、千歳市が管理している。 ・ サケのふるさと千歳水族館は、千歳市が管理している。 ・ 北ガス文化ホールは、千歳市が管理している。 ・ 新千歳空港は、北海道エアポート(株)が管理している。
<p>(3)アイヌ関係団体及び地域住民の協力体制</p>	<p>千歳アイヌ協会、千歳アイヌ文化伝承保存会と適時意見交換を行っている。</p>

8 収支予算

(1) 収入の部

(単位:円)

区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比 較 増 減	
			増	減
国庫補助金	19,875,200	36,691,108	0	△ 16,815,908
市町村負担額	4,968,800	9,172,777	0	△ 4,203,977
計	24,844,000	45,863,885	0	△ 21,019,885

(2) 支出の部

(単位:円)

経 費 区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比 較 増 減	
			増	減
(1)文化振興事業	24,844,000	45,863,885	0	△ 21,019,885
旅費	0	5,421,000	0	△ 5,421,000
報償費	0	120,000	0	△ 120,000
需用費	0	2,948,130	0	△ 2,948,130
使用料及び賃借料	173,000	165,080	7,920	0
委託費	24,669,000	22,297,000	2,372,000	0
工事請負費	0	10,098,000	0	△ 10,098,000
備品購入費	0	4,813,116	0	△ 4,813,116
役務費	2,000	1,559	441	0
(2)地域・産業振興事業	0	0	0	0
旅費	0	0	0	0
報償費	0	0	0	0
需用費	0	0	0	0
使用料及び賃借料	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0
工事請負費	0	0	0	0
備品購入費	0	0	0	0
役務費	0	0	0	0

経費区分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	
			増	減
(3)コミュニティ活動支援事業	0	0	0	0
旅費	0	0	0	0
報償費	0	0	0	0
需用費	0	0	0	0
使用料及び賃借料	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0
工事請負費	0	0	0	0
備品購入費	0	0	0	0
役務費	0	0	0	0
合計	24,844,000	45,863,885	0	△ 21,019,885
旅費	0	5,421,000	0	△ 5,421,000
報償費	0	120,000	0	△ 120,000
需用費	0	2,948,130	0	△ 2,948,130
使用料及び賃借料	173,000	165,080	7,920	0
委託費	24,669,000	22,297,000	2,372,000	0
工事請負費	0	10,098,000	0	△ 10,098,000
備品購入費	0	4,813,116	0	△ 4,813,116
役務費	2,000	1,559	441	0